

計算書類に対する注記(姫ヶ浜荘ユニット型)

1. 重要な会計方針

- 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法
- 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品一一定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- 引当金の計上基準
・退職給付引当金一愛媛県民間社会福祉事業従事者退職年金共済支援事業の基準により計算した額を計上している。
・賞与引当金一職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

愛媛県民間社会福祉事業従事者退職年金共済支援事業に定める給付制度

独立行政法人福祉医療機構に定める社会福祉施設職員等退職手当共済事業の給付制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービスクラス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- 特別養護老人ホーム姫ヶ浜荘(ユニット型) 拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式、第4号第4様式)
- 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㉑))
ア 特別養護老人ホーム姫ヶ浜荘(ユニット型)
イ ショートステイ 姫ヶ浜荘(ユニット型)
- 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㉒))
ア 特別養護老人ホーム姫ヶ浜荘(ユニット型)
イ ショートステイ 姫ヶ浜荘(ユニット型)

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	808,343,292		24,037,657	784,305,635
合計	808,343,292		24,037,657	784,305,635

(単位：円)

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

計 円 円

計算書類に対する注記(姫ヶ浜荘ユニット型)

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

建物（基本財産）	（単位：円）	
	取得価額	減価償却累計額 当期末残高
構築物	924,525,300	140,219,665 784,305,635
機械及び装置	2,850,000	189,998 2,660,002
車両運搬具	9,288,000	8,303,085 984,915
器具及び備品	3,480,140	3,480,138 2
ソフトウェア	18,434,290	17,992,821 441,469
合計	1,907,777	753,855 1,153,922
	960,485,507	170,939,562 789,545,945

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

該当なし

	（単位：円）	
	債権額	徴収不能引当金の当期末残高 債権の当期末残高
合計		

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

	（単位：円）	
	帳簿価額	時価 評価損益
種類及び銘柄		
合計		

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし